

競 技 注 意 事 項

本競技会は 2020 年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項により実施する。

1. 競技場への入場について

- (1) 入場は各種目開始 2 時間前とし、1F 正面玄関のみとする。
- (2) 退場はマラソンゲートと南西ゲートを使用すること。再入場はマラソンゲートのみとし、入場には当日配布する**入場許可証**を競技役員に提示すること。
- (3) 無観客での開催とするので、正面 2F メインスタンド入口は開放しない。

2. 練習について

- (1) 練習はバックスタンド後方（東側）の練習走路を使用すること。走る方向は北から南の一方通行とし、逆走は禁止する。個人のハードル等は持ち込まないこと。また、ゴムチューブ等を使ったスピード練習は禁止する
- (2) 競技会開始前のトラックを利用しての練習は、競技開始の 30 分前までとする。
[ホームストレート・バックストレート]
 - ・1 レーンは使用しない ・ジョグはレーン外
 - ・2～5 レーン＝コーナーからのスプリント練習 ・6～9 レーン＝直線からのからのスプリント練習**※順番待ち等は密を避けるように距離を保って待つこと。**
- (3) 競技場でのリレー練習は一切認めない。
- (4) 競技場内はメディスンボールなど、物を投げる練習は禁止する。
- (5) 走高跳、走幅跳、三段跳は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。
- (6) 競技場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。

3. 招集について

- (1) 競技開始 2 時間前～1 時間前（棒高跳のみ 1 時間 30 分前）までに「**体調管理チェックシート**」を室内練習場内に設ける競技者受付にて提出し、競技で使用するシューズとアスリートビブスの確認を受けることで、一次招集完了とする。但し、競技開始の 2 時間前が開門時刻より早いときは、開門時刻以降受け付ける。
- (2) 二次招集は現地招集とし、招集時間はトラック競技 15 分前開始 10 分前完了、フィールド競技 50 分前開始 40 分前完了とする。（棒高跳のみ 70 分前開始 60 分前完了とする。）
- (3) 一次招集に遅れた競技者は欠場したものとして処理する。
- (4) 同日に個人種目、リレー種目の 2 種目に出場する場合は、体調管理チェックシートにすべて記入し、最初の種目の一 次招集を完了することで、その後の種目の 一 次招集も兼ねることとする。
- (5) やむを得ず欠場する場合は、できるだけ速やかにプログラムにある欠場届を競技者係へ提出する。
- (6) リレーのオーダー用紙提出時刻は、開門時刻から組により設定されている競技開始時刻の 90 分前までに競技者係へ提出のこと。また、顧問のサインが必要なので、事前によく打合せを行うこと。なお、今回は代筆を認めることとする。
- (7) **WA（世界陸連）規則再改定に伴うシューズ（いわゆる厚底シューズ）の使用について**
規定外となる厚底シューズを使用する場合は、一次招集時にスパイクほかのチェックと同様にシューズの確認を受け、申告をすることになるので、必ず、競技に使用するシューズを持参すること。

4. 競技について

- (1) アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。
トラック種目では、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。なお、4×400mリレーの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつけること。
 - (2) スパイクのピンは、本数は11本以内とし、9mm以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。また、スパイクの直径は先端近く（少なくとも長さの半分）で、4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。
 - (3) トラック種目では、すべてタイムレースとする。
 - (4) 短距離競走は、フィニッシュラインを過ぎてもレーンに沿って走ること。
 - (5) 競技エリア内に通信機器（携帯電話等）やビデオ撮影機器（タブレット等）を持ち込んで서는ならない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技の映像を、録画再生機器などをスタンドからの手渡しや吊り下げる等により競技エリア内に持ち込むことは認めない。
 - (6) 集団での声援（応援）及び不正な助言行動は自粛すること。
 - (7) フィールド種目について
 - ① トップ8は行わない。
 - ② 各種目で次の記録以下は計測しないことを原則とする（1回は計測）。
 - ・走高跳 男子 1m50 女子 1m25
 - ・走幅跳 男子 5m20 女子 4m20
 - ③ 走幅跳は1・3組（メインスタンド前トラック側）、2・4組（メインスタンド側）で行う。走高跳は第一曲走路内側のメインスタンド側を1組、バックスタンド側を2組とする。
 - ④ バーの上げ方は下記のとおりとする。※練習の高さは当日現地で決定する。
 - ・走高跳 男子 1.50－1.55－1.60－1.65－1.70－1.75－1.80 以降 3cm ずつ
 - 女子 1.25－1.30－1.35－1.40－1.45－1.50 以降 3cm ずつ
 - ⑤ 砲丸投を除き、投てき種目の計測は、ベスト記録のみを計測する。
 - ⑥ 投てき競技や棒高跳びの滑り止めについては、主催者は準備しないので、個人で持参すること。
5. やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。やりの検定は、競技開始時刻の90分前より30分間、用器具庫（メインスタンド下南側）で行う。
6. 競技場の使用について
- (1) 競技者・付添等の関係者は指定された出入口から入退場すること。
 - (2) 声を出しての応援は禁止する。
 - (3) 横断幕、ノボリの設置はすべて禁止する。
 - (4) 以下の箇所にはテントを設置しないこと。
 - ① 南北の芝スタンド（土盛スタンド）の中段より下
 - ② メインスタンド中段通路より下側およびメインスタンド屋根下
 - ③ メインスタンド記者席からフィニッシュ側の4ブロックエリアなお、テントを設置する際に、ロープ等が通路にかからないようにすること。
 - (5) 使用した場所は各学校で責任を持って清掃し、ゴミ等は必ず持ち帰ること。
 - (6) トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用は禁止する。

- (7) 更衣室は6～10名以内で更衣のみの利用とし、マスクを着用して会話しないこと。使用時間は1人5分以内とする。また、清潔に使用し私物を置かないこと。

7. その他

- (1) 顧問の受付がない学校の競技者の出場は認めない。
- (2) プログラムは、配布しないので各校で印刷準備すること。
- (3) 競技中に起こった怪我は、本部の医務室で応急処置のみを行う。
- (4) 記録は、電光掲示板およびWEB ページで確認すること。（記録ボードは設置しない）
- (5) 全ての競技者は、競技終了後に手洗い・消毒を行ってから退場すること。
- (6) 盗難の発生や忘れ物に注意し、荷物等の管理は各校で十分注意すること。
- (7) 当日はゴミ箱を撤去しているので、ゴミはすべて各自持ち帰ること。
- (8) プログラム記載の個人情報（氏名、学校名など）および大会結果は、大阪陸上競技協会のWEB サイト（大阪高体連陸上競技専門部3・4地区）に記載されるが、本大会関係以外には一切使用しません。